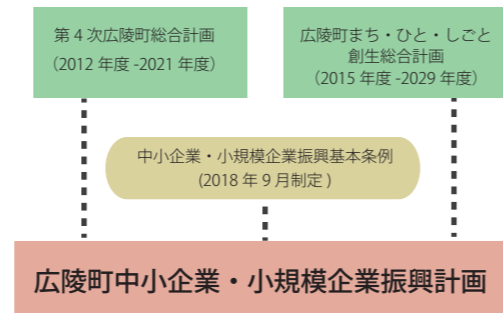


広陵町中小企業・小規模企業振興計画【概要版】

第1章 中小企業・小規模企業振興計画の位置付けと目的

【目的】

広陵町を取り巻く環境は確実に変化しており、少子高齢化・人口減少をはじめとする課題に対応していかなければならない。そこで、中小・小規模企業振興計画を策定し、まちの動力源である中小企業・小規模企業の持続的な成長・発展を進めていく。計画策定にあたって、2018年9月に制定された広陵町中小企業・小規模企業振興条例に基づき基本理念や方針、施策内容を設定した。



第2章 広陵町の現状と問題

【広陵町の概要】

人口：33,487人 面積：16.30km²
世帯数：12,470世帯 主産業：靴下、織物、プラスチック、なす

人口

- ・1980（昭和55）年代前半の真美ヶ丘ニュータウンの形成を契機に人口が急増し、以来増加傾向
- ・将来人口推計では2045年には29,798人と3万人を切る見込み
- ・年少人口と生産年齢人口は減少傾向
- ・昼間人口<夜間人口、流入人口<流出人口
⇒町外に通勤・通学する人口が多い傾向

産業

- ・事業所数の割合は、「卸売業、小売業」→「製造業」→「建設業」
- ・事業所数は若干の減少傾向、従業者数は増加傾向
- 《広陵町中小企業・小規模企業実態調査（H29.1）より》
- ・今後強化したい点⇒「人材」
- ・売上高の動向⇒45.2%の事業主が「減少」と回答
- ・減少の要因⇒「販路・市場の縮小」「同業他社との競争激化」
- ・運転資金⇒43.7%が「不十分」と回答

経済

- ・1人当たりの所得状況は2006年以降300万円付近でほぼ横ばい。
- ・地域経済循環率は56.5%（2010）→55.5%（2016）
⇒他地域から流入する所得に依存する傾向

ワークショップの開催

中小企業・小規模企業振興計画策定にあたり、町内の事業主が集まり計5回のワークショップを開催し、今後の町内企業の発展に関わる意見交換を行った。地域ブランドの確立や情報発信の充実が課題に挙がった。

第3章 課題の設定

◆人材に関する課題

今後予想される人口減少や高齢化、さらに町外従業者数の多いことから人材確保の対策を行う必要がある。

◆経営基盤に関する課題

各企業が自主的な努力をしていくとともに、行政などの関係者が連携しながら、マーケティングを通じた販路開拓を進め、競争力の強化を推進できる環境づくりを行う必要がある。

◆地域内連携・交流に関する課題

地域内の企業間連携および産官学連携も含めた、横断的な連携強化を進める必要がある。

◆ブランド力の強化に関する課題

地域内の資源をもう一度見直し、それぞれの強みを生かした地域資源のブランディング事業への取り組みを行う必要がある。

◆町内外に対する情報発信に関する課題

人材確保のための広報やPR、町内の商品・サービスの魅力発信、中小企業の支援制度の情報提供など、多方面に対する情報発信が必要である。

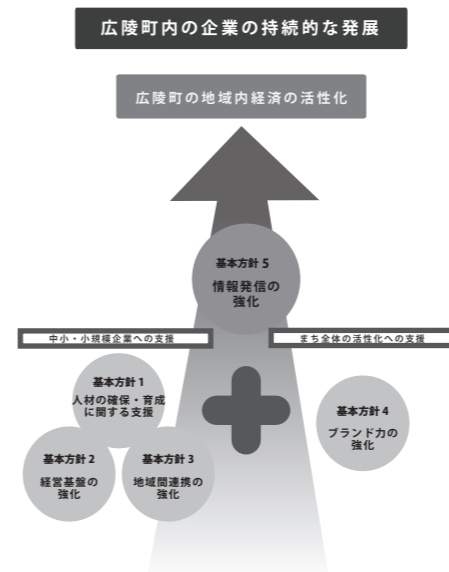
第4章 基本理念と方針

広陵町中小企業・小規模企業振興計画ビジョン

“がんばる企業が集まるまち、広陵町”

- 基本方針1 **ひと** 多様な人材を確保し、後継者を見据えた育成をできる環境を整えていきます。
- 基本方針2 **働く場** 事業を円滑に発展させるための各種制度の情報発信と労働環境の整備を行います。
- 基本方針3 **ネットワーク** 中小企業の競争力を高めるための企業間・地域内連携を推進します。
- 基本方針4 **ブランド** 町全体のブランド力向上に関わる施策を推進します。
- 基本方針5 **情報発信** 町内中小企業に関するあらゆる側面において情報発信を強化していきます。

第5章 中小企業・小規模企業振興に向けた施策



基本方針1 人材の確保・育成に関する支援

- ・高卒・大卒新卒者を対象としたインターンシップ制度の充実
- ・IUターナーを対象を含めた移住者に対する支援制度

基本方針2 経営基盤の強化

- ・設備投資促進補助金の見直し
- ・中小企業経営に関するセミナーや勉強会等の機会の創出

基本方針3 地域間連携の強化

- ・町内企業同士の交流会やビジネスマッチングフェアの開催促進
- ・中間支援組織による異業種間マッチング促進

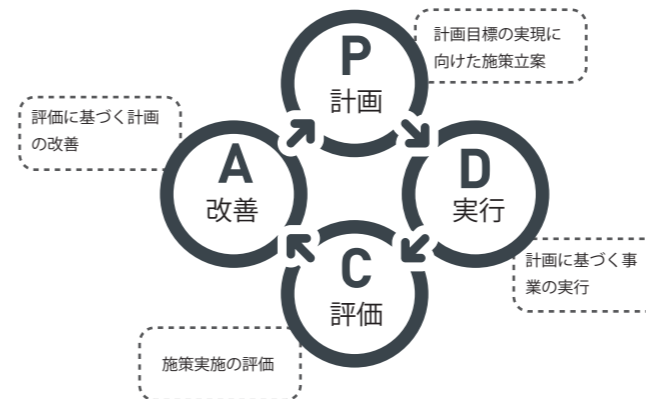
基本方針4 ブランド力の強化

- ・地域ブランド商品の開発や生産管理の支援
- ・商品デザインや販路開拓に対する支援

基本方針5 情報発信の強化

- ・オープンファクトリー事業の推進
- ・インターネットを活用した町内企業の魅力発信
- ・中小企業支援に関する窓口の整備

第6章 計画の進行管理



計画推進の体制

- ・中小企業の自主的な努力を核に、広陵町、商工団体、金融機関、教育機関、課題別小委員会等がそれぞれの役割を果たし、連携を進め取り組んでいく。

進行管理

- ・PDCAサイクルのもとで進行管理を進めていく。